

第1号議案

2022年度事業報告

1 企画調整活動

(1) 第30回総会の開催

日時：2022年5月18日（水）13:00～

場所：和歌山ビッグ愛 1201会議室（和歌山市手平2丁目1-2）

※オンライン配信を併用

議題：2021年度事業報告・決算報告、2022年度事業計画案・予算案

(2) 幹事会の開催（場所はいずれも市民の力わかやま事務所とオンライン会議併用、時間：16:30～）

①第1回幹事会（日時：2022年4月22日（金））

議題：総会議案等の審議、講演会、その他

②第2回幹事会（日時：2022年8月31日（水））

議題：部会活動報告、地域学習セミナー、その他

③第3回幹事会（日時：2022年12月26日（月））

議題：情報化フォーラム、部会活動、その他

(3) 情報交流会の開催

県内各市町村の意見を聴く機会として情報交流会開催を予定していたが、開催できなかった。

2 普及啓発活動

(1) 講演会の開催

「和歌山県における行政DXの方向性

～加速する人口減少社会で生き残るために～

日時：2022年5月18日（水）13:45～16:00

場所：和歌山ビッグ愛 1201会議室（和歌山市手平2丁目1-2）

※オンライン配信を併用

内容：

①講演1（13:50～14:20）

「和歌山県における行政DXについて」

講師：吉村 顕氏（和歌山県総務部長）

②講演2（14:20～14:50）

「DXが進む社会における和歌山県の取組について」

講師：桐明祐治氏（和歌山県企画部企画政策局情報政策課課長）

③パネルディスカッション（15:00～16:00）

- ・モデレーター 桐明祐治氏
- ・パネリスト 吉村 顕氏
- ・パネリスト 境 友和（NTT西日本ビジネス営業本部エンタープライズ
ビジネス営業部公共営業部門デジタルガバメント担当 課長）
- ・パネリスト 佐藤 周（和歌山県情報化推進協議会幹事長）

参加者数：72名（会場 39名、オンライン 33名）

※終了後、収録した映像をもとに希望者及び会員向けに動画アーカイブ配信を行った。



(2) わかやま地域情報化フォーラム 2023 の開催（合同開催：臨時災害放送局啓発セミナー）

テーマ：「臨時災害放送局のこれから」

日時：2023年2月9日（木）13:30～16:00

場所：和歌山県立情報交流センター ビッグ・ユー 情報実習室1（田辺市新庄町 3353-9）

※オンライン配信を併用

主催：近畿総合通信局、和歌山県情報化推進協議会

後援：和歌山県

内容：

① 基調講演 1

「災害情報を確実に届けるために～臨時災害放送局の役割～」

講師：村上圭子氏（NHK 放送文化研究所メディア研究部研究主幹）

② 基調講演 2

「臨時災害放送局の概要と開局手続」

講師：中屋敷 安則氏（総務省近畿総合通信局放送部長）

③ パネルディスカッション

パネリスト：村上圭子氏

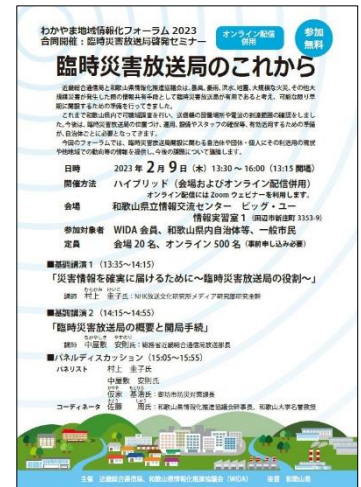
パネリスト：中屋敷 安則氏

パネリスト：仮家 基浩氏（御坊市防災対策課長）

コーディネータ：佐藤 周氏（和歌山県情報化推進協議会幹事長、和歌山大学名誉教授）

参加者数：92名（会場16名、オンライン76名）

※終了後、収録した映像をもとに希望者及び会員向けに動画アーカイブ配信を行った。



(3) 後援等

・第19回 和歌山地域医療情報ネットワーク協議会シンポジウム

「データヘルス改革～現状と展望～」の後援

日時：2023年1月14日（土）14:00～17:10

開催方法：オンライン開催（Zoom）

主催：NPO 法人 和歌山地域医療情報ネットワーク協議会（WAMINA）

・「レジリエントクラウド共同講座 公開講義イベント」の後援

日時：2023年2月22日（水）14:00 開演

場所：和歌山城ホール 小ホール

主催：クオリティソフト株式会社、国立大学法人和歌山大学

共催：和歌山県

3 調査研究活動

(1) ICT 利活用普及部会：ICT 利活用の最新事例紹介や意見交換等を行う。

部会長：満田 成紀（和歌山大学戦略情報室教授）

2022年度は特に活動を行わなかった。

(2) 教育 ICT 研究部会：教育分野の ICT 利活用の研究等を行う。

部会長：佐藤 周（和歌山大学名誉教授）

1) 高等学校の「総合的探究の時間」における地域連携推進のための地域学習セミナー

株式会社紀伊民報と共に、高等学校の新学習指導要領にある「社会に開かれた教育課程の実現」の実現に向けて、「総合的探究の時間」において地域連携を推進するために地域の情報の活用を目指した地域学習セミナーを実施した。

テーマ：公開データを活用した地域連携のあり方を考える

日時：2022年10月29日（土）13:00～16:00

場所：和歌山県立情報交流センター ビッグ・ユ一 情報実習室1（田辺市新庄町 3353-9）

※オンライン配信を併用

主催：和歌山県情報化推進協議会、株式会社 紀伊民報

後援：和歌山県、和歌山県教育委員会

内容：

第1部

① 講演「地域連携に活用できるビッグデータ・オープンデータとは」

講師：稲住孝富氏（和歌山県データ利活用推進センター センター長）

② 講演「データを授業で有効に活用するポイントとは」

講師：三浦隆志氏（授業デザイン研究所 所長）

③ 紀南地区 地域連携実践事例発表

- ・和歌山県立熊野高等学校（AED、防災学習、オープンデータ）
- ・和歌山県立串本古座高等学校（防災学習、子育て、オープンデータ）
- ・和歌山県立神島高等学校（神島屋、オープンデータ）
- ・和歌山県立南部高等学校（デュアルシステム、若者定着）

④ 「地域連携による探究学習を進めていくために」

講師：馬淵直氏（株式会社ベネッセコーポレーション）

第2部

① 事例発表へのご講評 講師：三浦隆志氏

② 質疑応答・意見交換等

参加者数：40名（会場24名、オンライン16名）

※終了後、収録した映像をもとに希望者及び会員向けに動画アーカイブ配信を行った。

2) 高等学校情報科の指導体制の一層の充実について

高等学校情報科について2022年度から共通必須履修科目「情報Ⅰ」及び2023年度から選択科目「情報Ⅱ」が予定されており、指導体制の充実が求められている。WIDAでは和歌山県における指導体制の充実にあ資するために企業・大学等と連携した協議会の設置に向けた活動などを行った。

(3) 防災研究部会：災害発生時に必要となる情報共有・広報活動について、情報通信・放送など多様な情報基盤を活用するための研究等を行い、また、臨時災害放送局サポーターの募集・登録や、災害時に被災者を支える災害情報・生活情報を速やかに提供できるシステム構築を目指す活動を継続した。

部会長：伊藤 宏（和歌山信愛女子短期大学副学長）

1) 可聴域調査

12月6日～7日に由良町で、12月8日～9日には那智勝浦町において、それぞれ近畿総合通信局に協力して可聴域調査を実施した。調査結果は両町に報告され、今後の臨災局設置時の情報伝達に利用される。

2) 「臨時災害放送局サポーター」の募集・登録

内容：大規模災害に備え、被災地で臨時災害放送局の開設・運営にあたるボランティアの「臨時災

～地域学習セミナー～
**公開データを活用した
地域連携のあり方を考える**
参加無料

学校や生活によって暮らしは大きく変わります。同時に、多くの学校や生活者を中心とした教育活動において、地域と連携、協働をしています。その一方で、社会との連携は進んでいますが、地域と連携、協働を心がけていない学校や生活者も多くあります。地域連携を進め、地域連携を推進するために地域連携のあり方を考えていくべきかを、ビッグデータやオープンデータの活用をめぐって、先方と共有していきます。

日時	2022年10月29日（土）13:00～16:00（12:30開場）
会場	和歌山県立情報交流センター ビッグ・ユ一 情報実習室1（田辺市新庄町 3353-9）
実施方法	ハイブリッド（会場およびオンライン（Zoom）配信併用）
対象	高等学校教諭
参加費用	無料
定員	会場30名、オンライン100名（事前のお申し込みが必要です）
内容	第1部 研修会（13:00～15:00） ■講演1 ●「地域連携に活用できるビッグデータ・オープンデータとは」 講師：和歌山県データ利活用推進センター長 稲住孝富氏 ●「データを授業で有効に活用するポイントとは」 講師：授業デザイン研究所 所長 三浦隆志氏 ■紀南地区 地域連携実践事例発表 ・和歌山県立熊野高等学校（AED、防災学習、オープンデータ） ・和歌山県立串本古座高等学校（防災学習、子育て、オープンデータ） ・和歌山県立神島高等学校（神島屋、オープンデータ） ・和歌山県立南部高等学校（デュアルシステム、若者定着） 事例発表への講評 ■講演2 「協議会による探究学習を進めていくために」 講師：株式会社ベネッセコーポレーション 馬淵直氏 第2部（15:00～16:00）質疑応答・意見交換等（※自由参加）

後援：和歌山県情報化推進協議会（WIDA）、株式会社 紀伊民報 協賛：和歌山県、和歌山県教育委員会
協力：和歌山県立情報交流センター

害放送局サポーター」募集を2016年に開始、現在も募集継続中。

開始時期：2016年4月21日（木）～（継続中）

2023年3月末現在のサポーター人数：

サポーター登録者数 21人（うち県内登録者数10人）

内訳：無線従事者 15人（第一級陸上無線技術士12人、第二級陸上無線技術士3人）

情報ボランティア 6人

3) 他団体との連携

和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センターと共同し、ボランティアサークル「むすぼら」と情報交流を行った他、和歌山大学でも講演を行い、情報ボランティア育成活動の重要性を周知し協力を求めた。

また、可聴域調査を行った由良町、那智勝浦町の他に日高地域の自治体、串本町、太地町、新宮市、みなべ町を訪問し、災害対策の現状と課題についてヒアリングを行い、意見交換を行った。

4 情報提供活動

(1) 協議会ウェブサイト (<https://wida.jp/>) の管理・運営。

協議会の活動の告知、報告ページの作成等を随時行った。

(2) メールマガジンの配信

希望する会員あてに国・県の施策やイベント情報を月1回程度配信。その他、会員からの情報提供内容を随時配信。

(3) SNS を利用した広報および会員の交流促進

Facebook で協議会ページを作成。広報、およびイベントの参加申し込み受付などに利用。Twitter でも同内容を同時配信。

<https://www.facebook.com/wida.jp>

https://twitter.com/info_wida

(4) 協議会の活動を動画配信（会員限定）

・わかやま地域情報化フォーラム等で撮影・編集した動画などを保存・配信



5 その他

(1) 和歌山県警察本部（サイバー犯罪対策課）の広報活動に協力

サイバー犯罪等に関する情報提供内容を随時メールマガジンでの告知またはWIDAウェブサイトに掲載し、広報活動に協力した。

(2) 近畿情報通信協議会、近畿情報通信関係団体連携促進会議への協力

近畿情報通信関係団体連携促進会議に参加：2022年9月27日（火）：オンライン会議

(3) 新型コロナウイルスの影響

2022年度も前年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、残念ながら予定の活動ができなかったり、活動が制限されたりした。

以上